

令和3年度第1回学校運営協議会

- 1 日 時 令和3年6月25日（金） 9：30～11：35
2 会 場 本校会議室
3 出席者 委員8名〔欠席者：中野年朗委員、高橋公子委員〕
事務局（学校関係者）8名

4 内 容

（1）開会あいさつ〔原田校長〕

（2）説明

①学校運営協議会について

- ・学校運営協議会の目的、機能について事務局から説明。
- ・R3年度のスケジュールについて確認。

②会長の選任・・・中野隆重委員が、会長として承認された。

（3）協議

【議案1】 学校経営計画について

原田校長から、令和3年度の学校経営計画について説明が行われ、全委員の承認を得た。

【議案2】 課題別テーマの協議

①日常的に地域とかかわる居場所づくり

〔事務局〕交流及び交流学习や、居住地校交流の取組について紹介し、地域との結びつきの重要性と、保護者の意識について、説明した。

〔中野会長〕児童生徒が地域で活動するためには、地域へ入っていくきっかけとなる活動が必要である。地域で生活できる環境をつくるためには、どんな方法があるか、委員の方々のご意見をいただきたい。

〔委員〕各地域で、小学生を対象とした「冒険あそび場」活動を行っている事例や、子ども通しの交流を大切に「子ども居場所づくり」に取り組んでいる事例などが、委員から紹介された。それぞれの活動は、地域の実態にあわせて工夫しながら実施されているが、西備支援学校の児童生徒が参加できるかどうかを教員が見学し、保護者へ案内していくことについて提案された。

〔委員〕少子化の中での子ども会の在り方について、地域でも模索している実態が紹介された。そのような中でも本校の児童生徒や保護者の参加について、進めていくこととなった。

〔委員〕韓国との交流について活動している委員から、国際交流の観点からの交流について提案され、積極的に計画していくこととなった。

〔まとめ〕子どもが活動する場所づくりについて、学校、地域、保護者がどのように取り組めるか、今後も考えていきたい。

②自己肯定感を高めるための地域貢献活動

〔事務局〕知的部門高等部の生徒の活動について紹介された。笠岡商店街で体験である「おかげ市」や「イルミネーション」など、地域の人々や他校生徒と連携や、笠岡駅や井原駅での清掃活動による地域貢献活動、農福連携による地域型実習など、作業学習での学びを地域で活かし、認められることで活動意欲向上につながっていることについて説明した。

〔委員〕コロナ禍の中での効果的な販売方法や、地域貢献活動についての地域の協力方法について、各委員から販売機会や販売提供等の情報提供があった。また、販売方法についても、今後は、地域の協力を得ながら販売することも可能であるとの意見があった。

〔委員〕外部の販売所へ商品を置くことについては、「商品ができた連絡→値段をつける→値札・バーコードを

付ける→納品する→・・・」など一連の手順があり、生徒の学習としても取り組みやすくコミュニケーション能力の向上などにつながるとの意見があった。

〔委員〕学校経営計画の「切れ目のない支援」、「卒業後の充実した人生」に関連して協議があった。委員自身が地域の一員として、日頃から、地域の中で子どもたちと関わっていくこと、子どもを地域でみていこうという気持ちを大事にしており、子どもたちが、学校を卒業してからの人生、卒業してからの人との関わり方、保護者の思いなど、地域との関係を切らしてはいけないと考えているとの意見に対し、居住地校交流はその第一歩として、地域と直接つながる機会になるとの意見があった。卒業後を見通して地域との関わりを大事にして、それを広めてくれている委員の存在は、学校にとってもありがたいものである。

〔委員〕障害者の方との相談の中で、卒業後の相談案件として、生活を送ることの困難さや、自己表現の難しさなどが多い。学校や保護者の関わりに対し、卒業後の就職だけを考えるのではなく、基礎となる力を学校生活や家庭生活の中で育てておいてほしいと感じている。毎日の生活が送れるような力を身につけることを学校教育へ期待する。

iii) 西備支援学校を地域に知ってもらうための情報発信

〔事務局〕学校での子どもたちの学習の様子や教員の活動について具体的に発信するため、ブログやfacebookの活用をしていることについて、説明した。

〔委員〕学校が効果的な情報発信することについて協議され、学校としては、保護者には自分の子どものクラスだけではなく、学校全体を見ることで、将来につながる先を見てもらいたい。また、地域の方には、本校を知ること、本校を応援してもらいたいと思っていることについて意見があった。

〔委員〕地域住民の実態から効果的な情報提供場所については、提供方法について、意見が出された。その中で行政が作成する広報誌の活用についても意見があった。また、情報発信のターゲットをだれにするかにより、発信方法を考える必要があるとの意見や、QRコードを商品に付けて発信する方法などについて、提案された。

(4) その他

特になし。

(5) まとめ

〔会長〕学校と地域とのつながりについては、昔からあるテーマであるが、今まだ課題になっているということは、とても難しいテーマだが、とても重要なテーマであるということである。今後も、地域と学校の連携ができるよう、各委員には、支援や協力をお願いしたい。

(6) 閉会あいさつ